のだジャーナル

第1353号
9/14
発行 野田市内 45,000部（毎週土曜朝刊折込）
発行所 のだジャーナル社
TEL 7125-2102（FAX 7123-1871）
〒278-0037 野田市野田783 ローレルマンション野田403

太陽光発電＋ガスは相性抜群！
太陽光発電は野田ガスで!!
野田ガス㈱ ☎04-7125-0101

9/16「敬老の日」
ソフトドリンク100円（税込）
間もなく秋の味覚スタート！
きのこラーメン800円（税込） きのこうま煮めし850円（税込）
中国料理 成久（なりきゅう） 営AM11～PM9 水曜定休 ☎7123-3535 清水公園通り

樽丸最中 下総最中

菓匠 丸嶋屋
0120-040841

楽しく賑やかに
大勢の市民が協力
「はーとふる祭」開く

社会福祉法人はーとふるひばり（船形310）で「第4回はーとふる祭」がこのほど、各福祉施設の関係者、川間地区の社会福祉協議会や婦人会、民生委員、野田ライオンズクラブ（昼食の焼そばなど提供）、はーとふるひばりボランティアなど大勢の協力を得て楽しく、賑やかに開かれた。

「古文書を読む」受講者を募集

関宿城博物館で歴史講座「古文書を読む（中級編）2回連続」が10月12日と11月4日に開かれる（両日とも10時～12時）。関宿地域に関係のある古文書をテキストにして、それを読み解く。受講無料。2回連続で参加できる方、定員20名。申込み☎04・7196・1400学芸課。

「起業成功塾」10月7日、プレセミナー

野田商工会議所と中小企業相談所の主催で「起業成功塾」本講座が11月に全4日間の日程で開講するに当たり、そのプレセミナーが10月7日、野田商工会議所で開かれる（19時～20時30分）。

プレセミナーは、ジャイロ総合コンサルティング代表取締役の大木ヒロシさんが『ムリ・ムチャ・ムダの無い起業成功のポイントとは?』をテーマに講演する。受講無料。

「まずは無料の特別講座（プレセミナー）にご参加下さい」と話している。

問合せ☎04・7122・3585野田商工会議所。

24日、ジョブカフェのだ 若者の就職活動を支援

若年者の就職活動を支援するため毎月一回、無料で開かれているジョブカフェのだ。35歳未満の方や、その親を対象に就職するための支援として各種セミナーや専門のカウンセラーによる個別相談、求人案内を実施している。

今月も24日に野田地域職業訓練センター（さわやかワークのだ）に開設。セミナー、個別相談は定員制で予約が必要。

問合せ☎04・7125・1111商工課。

あす15日 歌の祭典

野田市歌謡連合会の「第12回歌の祭典」があす15日、野田市文化会館で開かれる（午前10時開演）。

19日 消費生活セミナー

平成25年度消費生活セミナー「収納から始まる快適生活（脳タイプを知って上手な片づけを）」が9月19日10時から市役所8階大会議室で開かれる。

整理収納アドバイザーの渡辺眞理さんを講師に招く。定員150人。申込みが必要。1111市商工課。

興風会

▽9月10日 光陽会千葉（17時（初日迄））
▽9月22日 田俳句連盟～16時
▽9月25日 東彩会展9～終日16時迄

「第5回 ふれあいドッジボール大会」

あおいそら運動東部支部の主催による「第5回ふれあいドッジボール大会」が10月5日、東部小学校校庭で開かれる（雨天の場合16日）。

この大会は、〝元気で・仲良く〟をモットーに東部小と柳沢小の児童が参加する。問合せ☎04・7122・7300栗原（携帯090・7129・3186）。

野田市の自然はおいしい、イタリア料理
コメ・スタ comesta 1992
☎04-7121-0010 ☎04-7123-0131(代)
http://www.comestadome.jp

北京名菜 將香 JIANG XIANG 2012

今月の川柳② げんごろう選

ヘビ年は偏西風が蛇行する　高橋正幸
バスの中ただ乗りしてるあかトンボ　佐藤満
用もなくガソリン価格見て走る　横川こうしろう
花作り花が咲きますおしゃべりに　音女通子
整骨院予約してからジム通い　川島一行
しのび寄る消費増税の秋近し　中村博

※一般の方の投句も募集しています。官製ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号明記の上、本紙「投句」係まで。一枚のハガキに3句まで。

記者ポッポ

第十八回東京五輪の頃、人口は億に満たず、今より三千万人程少なかったが活きのいい生産労働人口は多く、その世代は大きな塊りとなって日本の経済成長を牽引した▼白黒TVの普及率は九〇％近くに達していたもののカラーTVは一％にも満たなかった。だから大半の人が白黒TVで開会式の選手団入場行進を見た。日本選手団は、日の丸をイメージした明るい赤の上着に白いズボン。これは後の映画「東京オリンピック」を見て分かったことだ▼夏季大会なのに十月十日秋たけなわの候に始まった。戦後の焼け跡から数えて僅かに十と九年。この頃を境に街角からアコーディオン抱えた傷痍軍人が徐々に消えていった。人たちは「一度と五輪（ごりん）」と興奮していた。紀元節を知っている人の中には、二千六百年祭を体験している。

今週の諺（ことわざ）
蝉（せみ）は美人（びじん）の

WE LOVE SUSHI
ご宴会・ご法事